

I. Y. 2020年卒 地域マネジメントコース

こんな学生時代を過ごしました

私の学生時代は、「子どもの学び支援プロジェクト」の実習、そして「廣渡ゼミ」での学びと、仲間たちとの豊かな交流に彩られていました。

「子どもの学び支援プロジェクト」では、週に2回、放課後の小学校で学習支援を行いました。児童一人ひとりの性格やその日の出来事を汲み取り、心に寄り添う個別支援を重視しました。活動後や週に一度の情報共有会議を通じて、メンバー間で支援内容を共有し、チームとして効果的なサポート体制を築くことの重要性を実感しました。学習支援以外にも、運動会での実況や大縄跳びの補助など学校行事に参加し、児童との距離を縮めました。さらに、自身の経験を語る「キャリア教育」の機会もいただき、児童たちの将来を考える一助となる喜びを感じました。実習リーダーとしては、会議進行、メンバーの状況把握、教授との連携などを担当し、計画性、問題解決能力、リーダーシップを実践的に養うことができました。

「廣渡ゼミ」では、団地の行事に参加して出店を出したり、「幸せとは」「リーダーシップとは」といったテーマを深く考察したりしました。団地の行事では、高齢者から子どもまで幅広い世代の人々と交流し、ゼミメンバーと徹底したリスクマネジメントを行うことで、多様なニーズに対応する企画力と実行力を磨きました。これらの学びは、現在の社会人生活においても、問題解決や意思決定に役立っています。

また、実習やゼミのメンバーとは、学生時代から卒業後の今も、共に食事や旅行に出かけるなど、深い友情を育みました。大学生なので贅沢はできませんでしたが、いかに楽しく充実した時間を過ごせるかを皆で工夫した経験は、今もかけがえのない財産です。共に笑い、共に成長した仲間たちとの絆は、社会人となった今も変わることなく、私の人生を豊かにしてくれています。



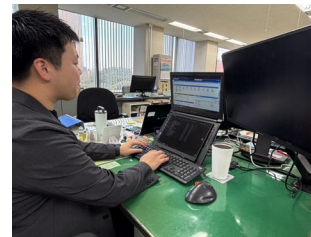
「子どもの学び支援プロジェクト」実習の最終日の写真。後輩たちからのプレゼントや同級生の言葉に涙しました。実習を振り返ると辛いこともありましたが、最高の思い出を築くことができました。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

私は卒業後、北九州市役所に就職しました。最初の配属は八幡東区役所保護課。ここでは、市民の皆様と直接向き合う中で、対応の基本を身につけることができました。生活保護制度だけでなく、税、介護、障害、医療といった幅広い分野の知識を得られたことは、多角的な視点から市民の暮らしを支える上で貴重な土台となっています。

次の異動先は、総務省への出向でした。自治体DXの推進やマイナポイント事業など、国の施策に携わることができました。これは、自治体では経験できない規模のプロジェクトであり、広範囲に影響を及ぼす業務に参画できたことは、大きな成長機会となりました。全国の自治体職員との連携を通じて、貴重なネットワークを築けたことも財産となっております。

そして現在は、総務市民局人事課で組織管理を担当しています。主な業務は市役所全体の定数管理であり、市政全体の動きを把握しながら、最適な組織運営を追求することに大きなやりがいを感じています。多様な部署との調整を通じて、俯瞰的な視点とバランス感覚が培われていると実感しています。



現在の人事課で業務している写真です。内部管理の部署であり出張等は多くありませんが、大変やりがいのある仕事です。

現役生へのメッセージ

これらの経験を通してお伝えしたいのは、どんな場所でも「学び」は無限にあるということです。実習やゼミ活動はもちろんですが、友人との遊びの時間も財産です。多くのことを学べるはず。目の前の仕事に真摯に取り組み、常に新しい知識やスキルを吸収しようとする姿勢が、皆さんのキャリアを豊かにしていきます。大学時代も最高に楽しいと思いますが社会人生活も違う種類の楽しさがあります。皆さんが社会で活躍されることを心から応援しています。

(2025年11月27日執筆)